

## ボランティア・ワークキャンプを入り口とした地域共生事業の推進

### 特定非営利活動法人グッド 村瀬つむぎ

私たちは、これまで若者と地域を繋ぐ多数のプログラムを実施してきた経験をもとに、「ボランティア・ワークキャンプ（通称：ワークキャンプ）」を入り口とした、地域共生事業の推進を提案します。

#### 【挑戦している取り組み】

2001年より国内外で「ボランティア・ワークキャンプ」を実施してきました。ワークキャンプと呼ばれるこの活動は、課題のある地域を訪れ、一定期間滞在しながら、その地域の課題解決のために働くという合宿型ボランティアのことです。大学生を中心とした若者を「参加者」、長野・静岡・広島といった地域で活動する組織を「受入団体」として、ワークキャンプの企画・運営を行っています。

21年間活動を続ける中で、活動先の各地域の方々から、「パワーのあるよそ者・若者が地域に入ることで、作業が捗るだけでなく、自分たちも元気をもらった」という声を幾度となく頂いてきました。ワークキャンプの持つ要素が、住民主体の地域共生の一助としてもたらしている効果と、それを推進するためのモデルについてご紹介します。

#### 【事業の概要】

私たちは、参加者と地域との間に立ち、プログラムの企画・運営を行っています。

対参加者：広報・集客・炊事や宿泊の調整・ボランティア作業サポート等

対地域：受入団体との事前調整、当日のボランティア作業のフォロー・サポート等

#### 【もたらされる効果】

◎自分の地域に関心を持つきっかけになる

ワークキャンプでは、ボランティアである参加者と受け入れ側の地域住民が、その地域が必要としている作業に共に取り組みます。参加者は地域に一定期間滞在をしながら、援農・酪農等に従事します。受け入れ側は、地域のニーズに合わせて何に取り組むかを定めるため、住民一人ひとりの主体的な声が重要となります。その過程は自分たちの地域に何が必要なのかを考える機会となり、住民同士がコミュニケーションをとる機会として有効に作用しています。

◎ボランティアと共に作業に取り組む中から、魅力の再発見が起こる

ワークキャンプでは、外からのボランティアを受け入れ、共に作業を行うので、活動期間中は地域住民同士の協力が必要不可欠です。スケジュール調整・寝床や食事の準備・作業の案

内など、様々な役割を担うことによって、地域住民たちは自然に活動に巻き込まれていきます。そのなかで、住民たちに自主性が生まれますし、ただ支援を受ける立場ではなく、一緒に作業に取り組むことで、自分たちの地域や作業の成果物に愛着を覚え、日頃当たり前に捉えていた地域の魅力を再発見する機会になります。

ボランティアとして参加する若者にとっても、普段触れられない自然や環境で生活・活動する機会や日頃は交流できない人々との出会いによって、視野が広がる機会となります。そうした場を提供する側として、地域が持つ魅力についての話を聞いたり、感謝をされたりすると、地域住民側にも活気が生まれる作用があります。

#### ◎濃密な時間を通して新たな繋がりができる

私たちの活動には大学生を中心に、中高生、社会人などさまざまな世代、不登校・引きこもり等、様々な背景を抱えるメンバーが参加しています。こうした多様なメンバーが混ざり合う非日常的なワークキャンプでは、地域の課題解決はもちろんのこと、彼ら一人ひとりの成長という重要な副産物があります。その成長を間近で見られることは、日頃ない貴重な経験として地域住民にも忘れられない思い出となります。短期間でありながらそうしたかけがえのない時間となるワークキャンプは、その地域にボランティアが再訪したり、その後も関係が継続したりすることも多いです。それは、中長期的に地域共生が進んでいくきっかけにもなると考えます。

#### 【成果を上げるためのポイント】

ワークキャンプの活動は、継続的な活動ではありません。しかし、短期で地域に関わるというスタイルは、外から人を受け入れる地域にとっても負担が少なく、地域にとっても効果的に刺激を与えることができます。また、ボランティア参加者側にとっても、気軽に参加できるため、地域を訪れるハードルが低くなるという側面があります。機会があれば、農業や酪農などを通して、特色ある地域に関わりたい・貢献したいと思っている若者たちは大勢います。

ボランティアという形で彼らを受け入れ、協力しながら作業に打ち込み、交流を深めることは、地域にとって「風」を取り入れ、関係人口を増やし、コミュニケーションが活発化する契機となります。

この取り組みにおいて成果を上げるために重要なのは、参加者となる若者と受け入れ側である地域の双方について理解しており、事前調整・サポートが行えるノウハウを身につけたコーディネーターが間に立って、実施・運営することにあると考えています。私たちのようにワークキャンプを実施する民間団体の存在が地域共生貢献の余地を広げることを願って、今回の提案の結びと致します。